

さらけだせ

第9回

全国校区・小地域 福祉活動サミット

IN THE WILD

KUROBE

2015 11.26^{THU} - 27^{FRI}



会場 黒部市宇奈月国際会館セレネ／宇奈月温泉周辺

主催 「第9回全国校区・小地域福祉活動サミットINくろべ」実行委員会 社会福祉法人 黒部市社会福祉協議会
共催 社会福祉法人 富山県社会福祉協議会 社会福祉法人 魚津市社会福祉協議会 社会福祉法人 入善町社会福祉協議会
社会福祉法人 朝日町社会福祉協議会 黒部市共同募金委員会



この事業は地域歳末助け合い
赤い羽根共同募金の助成金を
一部受けています

さらけだしたら、 つながるもの。

歳を重ねていくごとに、不思議とさらけだすのがむずかしくなりますよね。
恥ずかしいという気持ちもあるんだとは思いますが、責任や立場があって、
言えない、または言わないということが多くなるような気がします。
でも、一方で、こんな経験はないでしょうか。

「言いたいこと言い合って、仲良くなった」という経験です。

お互い、本心で何を考えているかが見えないうちは、
探りあいみたいなことばかりで、なかなか交わることができませんけど、
一度さらけだして話し合いでも議論でもしてみると、
「あ、この人こんなことを考えてたのか」となって、そう思うと急に親近感が
わいてきたりして。今では飲み友達！みたいなことになってるかもしれません。

いま、地域に必要なのはまさにこういうことなんじゃないかと思います。
年齢とか立場とか責任とか、そういうことではなくて、この地域、この地区に住む
ひとりの人として、思うことをさらけださないといけないんだと思います。

そしてもうひとつ。

さらけだす、ということは、ある程度じぶんの中を空っぽにするという意味も
あると思うのです。じぶんの中に言いたいことを溜めたままでは、
何も外から入ってきませんが、一度吐き出してしまえば、
また外からのアイデアを取り入れ余裕ができるということです。
このサミットを通して、まずはじぶんをさらけだして、吐き出して、
空いた部分に新しい気づきやアイデアを入れていく。
そうしたら、まだまだいいことを思いついてしまうかもしれません。

ついに「さらけだせ」の本当の意味が明らかになりました。

さあみなさん、あとは思い切ってさらけだしてください。

その先に、あなたの地域の未来があります。

でも、変わるのはあなた自身、そしてあなたの半径3メートル。

1

みんなでつくったグラドルールを基に最高のサミットでお出迎えします。
企画運営委員のみなで、こんなサミットにしようというルールをつくり「参加型」「共感」「笑顔」などを大切にこのサミットをつくり込みました。

2

**未だかつてない全体会で、
地域福祉の最前線でご活躍の3大先輩のメッセージが聞けます。**
牧里每治氏、大橋謙策氏、山崎美貴子氏、この3名から一度にお話を聞くことができる、またとないチャンスです。

3

未来への目標が明確になります。
このサミットのGOALは、「10年後のビジョン 未来の地域を思い描こう」です。参加することで明確に目指すべき目標をイメージすることができます。

4

たくさんの人と人が出会い、つながるチャンスになります。
小地域活動を支える1,000名の参加者との出会いがあります。大交流会でも本音をさらけだし、皆さんの距離がグッと縮み、たくさんの人とつながります。

5

**サミット参加者は、参加するだけでなく、
共に未来の地域を考える仲間ができます。**
「聞く、知る」だけのサミットではなく、参加型の要素を大切に「学びと議論」の場を提供し、共に考える仲間が見つかります。

6

勇気と元気をもらえます。
このサミットに参加すると「やる気」がでます。

7

また、来年も参加したくなります。(第10回は愛知県岡崎市で開催予定)
学ぶことは楽しい。そう思える場をつくれます。

11月26日(木)

1日目

11:30～12:30 受付

12:30～13:00 オープニング

●開会挨拶

実行委員会会長 松井 敏昭

黒部市長 堀内 康男

黒部市市議会議長 木島 信秋

●来賓紹介

●オリエンテーション

13:00～14:00 全体会

リレートーク

「そもそもの小地域、これからの小地域」

「そもそものこと」サミット開催の経緯や小地域に着眼する意義、今までの振り返り、「これからの日本と地域」について現状と未来を認識し、社会課題や課題提起を全体で共有します。

登壇者 関西学院大学 人間福祉学部 教授/サミット名誉会長 牧里 每治

東北福祉大学大学院 教授/公益財団法人 テクノエイド協会理事長 大橋 謙策

神奈川県立保健福祉大学 顧問・名誉教授/「広がれボランティアの輪」連絡会議会長 山崎美貴子

コーディネーター 認定特定非営利活動法人 日本NPOセンター 常務理事 田尻 佳史

14:00～14:30 休憩・移動

14:30～17:00 分科会 (①～⑩) P.6・7をご覧ください

18:00～20:00 大交流会 ※希望者のみ

20:30～22:30 2次会 21:30～「夜なべ車座トーク」※希望者のみ

11月27日(金)
2日目

7:30 ~ 8:30 グッドモーニングトーク ※希望者のみ

8:30 ~ 9:00 受付

9:00~10:15 フォーラム

I. 人

人を育てる

コーディネーター	中部学院大学短期大学部 社会福祉学科	准教授	大井智香子
コメンテーター	認定特定非営利活動法人 日本NPOセンター	事務局長	新田英理子
スペシャルゲスト	社会福祉法人 豊中市社会福祉協議会	事務局次長	勝部 麗子
助言者	関西学院大学 人間福祉学部	教授 / サミット名誉会長	牧里 毎治

II. 場・しくみ

参加型の場づくり

コーディネーター	愛知淑徳大学 文学部 教育学科	准教授	小島 祥美
コメンテーター	社会福祉法人 大阪ボランティア協会	事務局次長	永井 美佳
スペシャルゲスト	社会福祉法人 全国社会福祉協議会	事務局長	渋谷 篤男
助言者	特定非営利活動法人 全国コミュニティライフサポートセンター	理事長	池田 昌弘

III. 資金・資源

地域資源の活用

コーディネーター	同志社大学 社会学部 社会福祉学科	准教授	永田 祐
コメンテーター	社会福祉法人 中央共同募金会	企画広報部長	高橋 良太
スペシャルゲスト	日本大学 文理学部 社会福祉学科	教授	諏訪 徹
助言者	神奈川県立保健福祉大学 顧問・名誉教授 / 「広がれボランティアの輪」連絡会議会長		山崎美貴子

10:15~10:30 休憩・移動

10:30~11:40 まとめ

「未来の地域を思い描く」と題して、フォーラムで議論した3つの柱（人・場・資源）の10年後の姿とリンクさせ、10年後の目指すべき地域の姿（宣言文orキャッチコピー）を作成し、発表します。

フォーラムでの議論報告 ▶	3フォーラムのコーディネーター	大井智香子・小島 祥美・永田 祐
感想を「さらけだせ」▶	コーディネーター 社会福祉法人 全国社会福祉協議会 地域福祉部	担当部長 阿部陽一郎
宣言文発表 ▶	協力	コピーライター 横森 祐治・三井陽一郎

11:40~12:00 クロージング

- 閉会挨拶 実行委員会副会長 岩井 憲一
- 実行委員・企画運営委員紹介
- フラッグ引継ぎ 愛知県岡崎市

自治力を 高めるために

住民主体、全員参加

「自分たちのまちは、

自分たちで良くしていく」ための

方法は？

分科会

1

自治活動は、フマンか？ロマンか？

「じぶんたちの地域は、じぶんたちで良くする」そんな理想を描きつつも、現実の地縁組織の自治活動に対して、強制感や義務感を強く感じる人々も多くいるようです。住民主体や全員参加が叫ばれる中、自治活動を不満から、ロマンへ変えていくためにはどうすれば良いかを事例を通じて議論し、これからの自治活動のあり方を探ります。

コーディネーター 特定非営利活動法人 さくらネット

代表理事 石井布紀子さん

スペシャルコメンテーター 松阪市長（三重県松阪市）

山中 光茂さん

実践報告 西神ニュータウン竹の台1丁目自治会（兵庫県神戸市西区）

会長 絹川 正明さん

摂陽地区福祉のまちづくり協議会（兵庫県伊丹市）

副会長 瀧内 和之さん

大布施自治振興会（富山県黒部市）

会長 松原 宗一さん

分科会

2

地域の空きスペースを活用した場づくり

生活する地域を見回すと、空き家やうまく活用されていない公民館などの空きスペースが増えており、このことは全国的な傾向と言えます。このような地域の変化を住民自らが主体となり、コミュニティの活性化につなげている事例を学びながら、参加者と共に活用についてのアイデアを出し合い、そのアイデア活用を通じてみんなの「出番と役割」のある場づくりについて考えます。

コーディネーター 中部学院大学短期大学部 社会福祉学科

准教授 大井智香子さん

実践報告 大牟田市都市整備部建築住宅課（福岡県大牟田市）

課長 牧嶋 誠吾さん

生地自治振興会（富山県黒部市）

会長 根塚 俊彦さん

共に生き、 共に助け合う 社会へ

共に生き、

共に助け合う社会を実現し、

誰もが安心して暮らせる

まちづくりを進めるためには？

分科会

3

支えるから支えあいへ

～障がいのある人たちの 就労支援の可能性～

障がいのある人々が、住み慣れた地域で自立して生活し続けていくためには、生活と就労の場としてのコミュニティづくりを進めていく必要があります。地方創生が話題になっていますが、その地域に住まう障がいのある人々が、地域の資源を活用して過疎や人口減少の課題の担い手として、就労を通して地域に貢献し地域の課題を解決する、そんな取り組み事例から今後のコミュニティづくりの方法を考えます。

コーディネーター 関西学院大学 人間福祉学部

実習助手 橋川 健祐さん

実践報告 社会福祉法人 よさのうみ福祉会（京都府与謝郡与謝野町）

法人事務局長 小谷 勝己さん

社会福祉法人 佛子園 三草二木 西園寺（石川県小松市）

施設長 安倍 真紀さん

社会福祉法人 くろべ福祉会 くろべ工房（富山県黒部市）

管理者 永井 出さん

分科会

4

「孤立」「孤独」にさせない地域づくり

各地に広がる地域のつながりの希薄化や高齢の一人暮らしの増加などから起こる、「孤立」「孤独」は大きな社会問題となっています。そこから起こる「孤独死」や「社会的孤立」を防ぐには、行政の制度やサービスだけでは解決できません。誰もが住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けていくためには、住民同士の自助・共助の力を活かす必要があります。富山で実践されている地域住民同士の支え合いのしくみ「ケアネット事業」の事例やNPO法人の新たな取り組みを通じて、地域でどのように支え合い「孤立」「孤独」に向き合っていくかを考えます。

コーディネーター 同志社大学 社会学部

准教授 永田 祐さん

実践報告 氷見市朝日丘地区社会福祉協議会/氷見市民生委員児童委員協議会（富山県氷見市）

副会長 村上 美奈子さん

特定非営利活動法人 つむぎ（富山県魚津市）

理事長 飯田 恭子さん

分科会

5

地域で育てるじぶんの足 ～移動支援で困っていませんか～

高齢化と過疎化が進む中、車以外の地域の足となる公共交通だけでは、移動の手段は充分ではありません。買い物難民や通院等の移動手段の確保のために、さまざまな移送サービスが取り組まれています。しかし、取り組んではみたものの、上手くいかなかった例もあります。今回はそんな事例を通じて、なぜ上手くいかなかったのか、また、成功している事例から大切なポイントはどこを探り、これからの地域の足（移動）を考えます。

コーディネーター 社会福祉法人 新潟県社会福祉協議会 地域福祉課

主任 坂野健一郎さん

実践報告 特定非営利活動法人 移動支援Rera（宮城県石巻市）

代表 村島 弘子さん

新潟県新発田市五ヶ字地区振興会 送迎ボランティア

長谷部 仁さん

特定非営利活動法人 コミュニティサポート黒部（富山県黒部市）

理事長 中田 宜臣さん

次世代に バトンを

いつかは来る世代交代。

未来の地域活動を

担う次世代に

どうバトンをつなぐのか？

分科会

6

地域で若者に出番をつくる ～若者にバトンを渡す～

これからの地域の担い手・後継者不足は、多くの地域で課題となっています。そもそも若者とは何歳から何歳までか？バトンをつなぐ相手は誰から誰にか？上手なバトンタッチの方法や自分たちの地域では解決しきれない課題に対して、若者を巻き込み活かしていく方法について学びます。

コーディネーター	敬和学園大学 人文学部	講師	川本健太郎さん
スペシャルコメンテーター	経団連事業サービス研修グループ長 / 特定非営利活動法人 明日育 理事		長沢恵美子さん
実践報告	NIKKO高校生ボランティアネットワーク縁人プロジェクトメンバー		高校生
	社会福祉法人 日光市社会福祉協議会 (栃木県日光市) 地域福祉戦略室長		松本 昌宏さん
	富山県内高校生自治会 STUDENT FORCE	代表/運営アドバイザー	石原壮一郎さん
	愛本姫社まつり大蛇お光行列保存会 (富山県黒部市)	副会長	松本 幸利さん

分科会

7

こどもを中心に地域をつくる ～教育なくして未来はない～

少子化の影響はさまざまな形で問題となっていますが一方で、一人のこどもに対してたくさんの大人が関わるようになってきたのも事実です。そんな特徴を強みと捉えて、地域づくりに活用していく方法について考えます。また、こどもの貧困問題、教育支援を総合的に解決する取り組み実践事例を通して、次世代を担うこどもたちの未来を考えます。

コーディネーター	大阪教育大学 教育学部	准教授	新崎 国広さん
実践報告	特定非営利活動法人 山科醍醐こどものひろば (京都府京都市山科区)	理事長	村井 琢哉さん
	社会福祉法人 長岡京市社会福祉協議会 (京都府長岡京市) 地域福祉係長		奥田 健二さん
	JAくろべ女性部 (富山県黒部市)	部長	高本 一恵さん

一歩先を 見る

今は大丈夫。

だけど、これから、

いざという時が心配。

そんな課題に対して

先手を打つ予防策を考える。

分科会

8

備える意識づくり ～災害に対する備えを小地域で高める～

全国各地で起こるさまざまな災害。その規模も災害の内容もさまざまゆえに、その備えも変わってきます。地域に合わせた普段からの防災意識を高め、みんなで備えをしておくことが必要です。「この地域は大丈夫だろう」という住民の意識を変えて、防災意識を高めることは容易ではありません。ここでは、具体的に小地域での防災・減災に取り組む地域の実践事例から学びます。

コーディネーター	特定非営利活動法人 にいがた災害ボランティアネットワーク事務局長	李 仁鉄さん
実践報告	社会福祉法人 長野県社会福祉協議会 相談事業部 自立支援グループ主事	山崎 博之さん
	特定非営利活動法人 レスキューストックヤード (愛知県名古屋市中区)	常務理事 浦野 愛さん
	社会福祉法人 入善町社会福祉協議会 (富山県入善町)	主任 浦田 実さん

分科会

9

おしえて！外国人の「ホントのトコロ」

地方都市においても外国人を見かける機会も増え、地域でもグローバル化が進み、今後も外国人の人口が増えると予測されます。しかし、現状では多くの地域において、まだまだ外国人と地域住民のつながりは薄く、日常生活において戸惑いが多くあると聞きます。こんな状況下で災害時などの有事においては、たくさんの困難が予測されます。そこで、この分科会では、共に生活し暮らす地域住民として外国人から見た「ホントのトコロ」を聞き出しながら、お互いの文化や価値観などの違いを認識しつつ理解を深める機会をつくります。

コーディネーター	愛知淑徳大学 文学部	准教授	小島 祥美さん
実践報告	公益財団法人 とやま国際センター (富山県富山市)	国際交流課係長	中村 則明さん
	日本語教室 in 黒部 (富山県黒部市)	代表	家城 香織さん
	黒部市民生委員児童委員協議会 児童福祉委員会 (富山県黒部市)	委員長	田村 豊嗣さん

○ スペシャル企画

さらけだせ

本音をさらけだして、

これからを考える。

分科会

10

「さらけだせ」大橋先生！

地域福祉のトップリーダーとしてさまざまな実践と研究を長年重ねてこられた大橋謙策先生のこれまでの思いとこれからの思いをさらけ出してもらいます。ざっくばらんな2時間半。多くのことが学べ、元気になる時間です。美味しいコーヒーを飲みながらじっくりと語り合いませんか？
(限定30名：参加費とは別に1,000円コーヒー付)

語り手	東北福祉大学 大学院 教授 / 公益財団法人 テクノエイド協会 理事長	大橋 謙策さん
-----	-------------------------------------	---------

名刺や自団体のチラシなどをたくさんお持ちください

11月26日(木)

1日目

18:00~20:00

大交流会

今までのこと、今のこと、活動のことなど、想いや本音をさらけだして、
たくさんの人とつながりましょう。

参加費：5,000円
定員：250名
場所：宇奈月杉乃井ホテル

21:30~22:30

夜なべ車座トーク

サミット出演の講師陣(有志)と膝を合わせて語りあうことができる場です。
2次会の一角で開催します。

参加費：2,000円(予定)
場所：宇奈月温泉内ホテル

11月27日(金)

2日目

7:30~8:30

グッドモーニングトーク

牧里毎治実行委員会名誉会長をお迎えし、
未来の地域への熱いメッセージをゆったり聞きましょう。

参加費：500円(コーヒー代)
場所：黒部市宇奈月国際会館セレネ「カフェ・セレネ」

連携事業

13:00~16:30

全国社会福祉協議会主催

平成27年度「地域の福祉力セミナー」のご案内

住民が自ら“地域の福祉力”を育み、地域福祉課題の解決に取り組むプロセスをいかに社会福祉協議会がサポートしていくことができるか、その視点や手法について研究・協議することを目的に開催するものです。介護保険制度改革における新たな地域総合事業の創設や社会福祉法人における地域公益事業への期待などを背景に、今後の地域福祉推進における協議体づくりや計画づくりの取り組みへの重要性が高まっています。こうしたなかで社会福祉協議会の役割やその可能性を見つめつつ「地域の福祉力とは何か」を考えます。

日時：平成27年11月27日(金) 開会13:00(予定) 閉会16:30(予定)
会場：黒部市宇奈月国際会館セレネ
参加費：5,000円
定員：200名
テーマ：「これからの地域福祉と協議体・地域福祉活動計画づくり(案)」
内容：基調報告・基調講演・事例報告(予定)

※開催要綱・申込書は、近日中に下記ウェブサイトに掲載いたします。
全社協地域福祉・ボランティア情報ネットワーク<http://www.zcwvc.net/>

○ 1. 参加登録(申込)について

参加費 お一人様6,000円(両日参加・一日参加とも)

(1) 参加ご希望の方は、添付の参加申込書に必要事項をご記入の上、「名鉄観光サービス株式会社 富山支店」宛、10月16日(金)までに、FAX又はご郵送にてお申込ください。申込み締め切り後に、順次予約関係書類及び、請求書を送付いたします。尚、団体での申し込みの場合は、一括での請求・送付となりますので、ご了承ください。

※予約関係書類及び請求書到着後、指定期日(10月30日)までにお振込みをお願いいたします。

(2) 参加申込み後の変更・取消については、「4. 変更・取消について」をご参照ください。

○ 2. 交流会について

■ 日 時：2015年11月26日(木) 18:00～20:00

■ 会 場：宇奈月杉乃井ホテル

■ 参加費：5,000円

■ 定 員：250人(お申込先着順)

■ 参加ご希望の方は、申込書の交流会の欄に○印をご記入ください。

※宇奈月杉乃井ホテルご宿泊の場合は、交流会参加費を含んでおります。その他ホテルにご宿泊の場合は参加費が必要となります。

○ 3. 宿泊について

■ 宿 泊 日：2015年11月26日(木)・11月27日(金)

■ 宿泊条件：1泊2食付(サービス料・税金込) * 旅行代金は下記ご参照ください。

■ 最少催行人員：1名より(添乗員は同行いたしません)

※宿泊代金は1泊当たりお1人様のお値段です。尚、今回温泉旅館でのご宿泊となります為、1名1室利用の設定はございません。予めご了承ください。

※グループでの宿泊の場合、夕食会場を個室宴会でのご希望の場合は、弊社にご相談ください。

※各施設の詳細は、お手数ですが各施設のホームページ等でご確認をお願いいたします。

■ お申込は申込書の宿泊プラン欄に下記申込記号をご記入いただき、ご希望は第2希望までご記入くださいませ。

申込は受付順とさせていただきます。

■ 宿泊指定ホテルは、分科会会場などでご協力いただいている施設にて設定しております。なるべく指定ホテルへのご宿泊にご協力ください。

※この募集企画は名鉄観光サービス株式会社 富山支店(富山県富山市桜橋通り1-18/観光庁長官登録旅行業第55号)が企画・実施する旅行であり、この旅行に参加されるお客様は当社と募集型企画旅行契約を締結することになります。

<受付ホテル一覧>

	申込番号	客室人数	料金(一人あたり)	食事条件
宇奈月グランドホテル	A-4	4～8名1室	11,000円	1泊2食付 ※ホテルでの夕食不要の場合 -3,000円
グリーンホテル喜泉	A-3	3名1室	12,000円	
ホテル黒部	A-2	2名1室	14,000円	
宇奈月国際ホテル	B-4	4～8名1室	13,500円	1泊2食付 ※ホテルでの夕食不要の場合 -3,000円
	B-3	3名1室	14,500円	
	B-2	2名1室	16,500円	
宇奈月杉乃井ホテル	C-4	4～8名1室	14,000円	1泊2食付 (交流会参加費含む)
	C-3	3名1室	15,000円	
	C-2	2名1室	18,000円	

※上記ホテル以外のご宿泊をご希望の方は、手配旅行契約として手配をお受けいたします。申込書の備考欄に希望内容をご記入ください。

4. 変更・取消について

- (1) お申込後の変更・取消は、必ず F A X 又は郵送にて名鉄観光サービス(株)富山支店までご連絡ください。
- (2) 返金にかかる振込み手数料は参加者負担とし、差し引き後の金額でご指定口座へ返金いたします。
- (3) 変更・取消にかかる料率は下記ご参照ください。(弊社営業時間内の受付に限ります)

※営業時間 平日9:00～18:00(土・日・祝日は休業とさせていただきます)

取消日	参加費	交流会	宿泊
11月10日まで	無料	無料	無料
旅行開始日の前日からさかのぼって15日前～11日前まで	100% [*]	無料	無料
旅行開始日の前日からさかのぼって10日前～8日前まで		無料	20%
旅行開始日の前日からさかのぼって7日前～4日前まで		30%	30%
旅行開始日の前日からさかのぼって3日前から2日前まで		30%	30%
旅行開始日前日		50%	40%
旅行開始後又は無連絡不参加		100%	100%

※サミット終了後、資料をご郵送させていただきます。

5. 個人情報の取扱について

参加申込の際に提出された申込書に記載された個人情報は、お客様との連絡の為に利用させていただき、他、お申しいただいた運送・宿泊機関等の提供するサービスの手配及びそれらのサービス受領のための手続きに必要な範囲で利用させていただきます。また、大会事務局に提出させていただきます。それ以外の目的でご提供いただいた個人情報は利用いたしません。

6. 参加登録・宿泊・交流会に関するお申込・お問合せ先

【旅行企画・実施】名鉄観光サービス株式会社 富山支店

「第9回全国校区・小地域福祉活動サミットINくろべ」係

〒930-0004 富山県富山市桜橋通り1-18北日本桜橋ビル5階 担当:橋谷田・吉田・橋本

TEL:076-431-8056 FAX:076-431-2056 e-mail: toyama@mw.t.co.jp

営業時間 平日9:00～18:00(土曜・日曜・祝日は休業)

団体名		都道府県	
申込責任者			
TEL () -		携帯電話 () -	
FAX () -		メールアドレス	
所在地(個人の場合は自宅) 〒 -			
来場時の利用交通機関 公共交通機関・貸切バス・自家用車		貸切バス利用の場合の車種・台数・乗車予定人数 マイクロ及び小型・中型・大型／ 台／約 名	

No.	参加者氏名		11月26日(木)		宿泊プラン		備考 同室希望者など ご記入ください
			分科会 ※先着順	交流会	26日	27日	
1	フリガナ		第1希望		第1希望	第1希望	
	男・女	()歳	第2希望		第2希望	第2希望	
	役職		第3希望				
2	フリガナ		第1希望		第1希望	第1希望	
	男・女	()歳	第2希望		第2希望	第2希望	
	役職		第3希望				
3	フリガナ		第1希望		第1希望	第1希望	
	男・女	()歳	第2希望		第2希望	第2希望	
	役職		第3希望				
4	フリガナ		第1希望		第1希望	第1希望	
	男・女	()歳	第2希望		第2希望	第2希望	
	役職		第3希望				

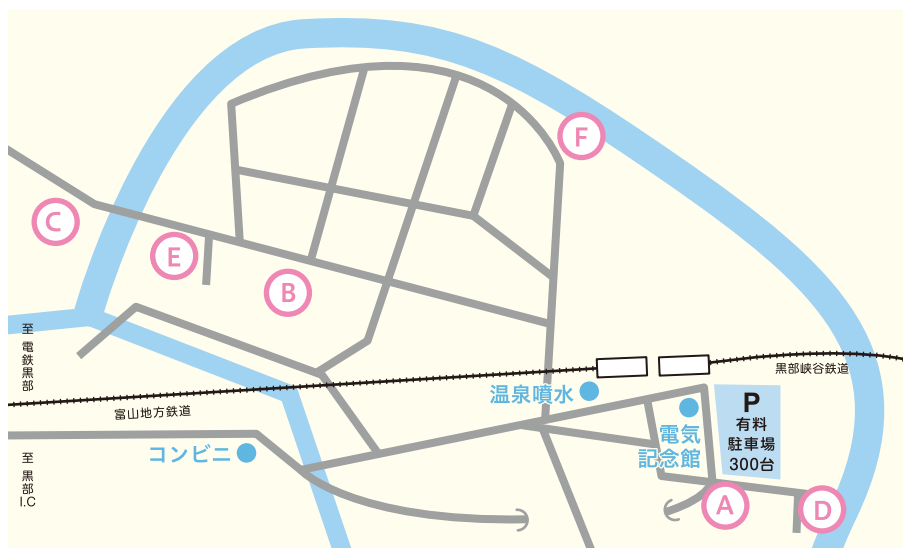
※備考欄には、同室希望者、手話通訳・要約筆記・車イス補助等を具体的にご記入ください。
 ※用紙が足りない場合は、コピーの上、ご使用くださいませ。また、変更・取消の場合は、控えに加筆・修正をしてFAX願います。
 尚、代表者の連絡先(住所・電話・FAX)は正確にご記入くださいますようお願いいたします。

申込・お問合せ先 名鉄観光 富山支店 TEL:076-431-8056 / FAX:076-431-2056
 〒930-0004 富山県富山市桜橋通り1-18 担当:橋谷田・吉田・橋本

受付番号

FAX : 076-431-2056

○ 会場のご案内



- 鉄道 / 北陸新幹線「黒部宇奈月温泉駅」下車～隣接富山地方鉄道「新黒部駅」乗車～「宇奈月温泉駅」下車徒歩6分
あいの風とやま鉄道「黒部駅」下車～富山地方鉄道路線バス「黒部駅前」乗車～「電鉄黒部駅前」下車～富山地方鉄道「電鉄黒部駅」乗車～「宇奈月温泉駅」下車徒歩6分
- 自家用車 / 北陸自動車道 黒部インターから約25分

※混雑が予想されますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。
※団体バスでのご来場の場合は必ず事前に実行委員会事務局までご連絡ください。
※車でお越しの際は、有料駐車場をご利用ください。

メイン会場

- A 黒部市宇奈月国際会館セレネ
〒938-0282 黒部市宇奈月温泉6-3
Tel.0765-62-2000

分科会会場・宿泊先ホテル

- B 宇奈月グランドホテル
〒938-0282 黒部市宇奈月温泉267
Tel.0765-62-1111
- C グリーンホテル喜泉
〒938-0282 黒部市宇奈月温泉1387
Tel.0765-62-1321
- D ホテル黒部
〒938-0282 黒部市宇奈月温泉7
Tel.0765-62-1331
- E 宇奈月国際ホテル
〒938-0282 黒部市宇奈月温泉7-26
Tel.0765-62-1236
- F 宇奈月杉乃井ホテル
〒938-0282 黒部市宇奈月温泉352-7
Tel.0765-62-1311

○ 参加申し込みにあたって

- 参加にあたっては、本開催要綱の「参加・宿泊・交流会等申し込みのご案内」をよくお読みいただき、「第9回全国校区・小地域福祉活動サミットINくろべ」参加申込書に必要事項をご記入の上、FAX又は郵送にてお申込みください。
- 参加にあたっては参加費6,000円の事前振込みをお願いします。
- 10の分科会の中から、それぞれ希望する分科会番号を第3希望までご記入ください。ただし、会場定員数の関係で、希望される分科会にご参加いただくことができない場合がありますのでご了承ください。
- 全体会、フォーラムのメイン会場は、700人収容のため、残りの会場はメイン会場からの中継となります。
- 参加にあたって、手話通訳・要約筆記・車イス補助等が必要な場合は、参加申込書備考欄に希望することを具体的にご記入ください。

○ 参加券の送付について

参加申込書により、参加費請求書と参加券を郵送いたします。
グループでお申し込みの方に関しては、代表者に一括して送付します。

○ 申込締切日

2015年10月16日(金)

※ただし、会場の都合により、定員1,000名に達した時点で申し込みを締め切らせていただきます。

参加申込に関する お問い合わせ先

名鉄観光サービス株式会社 富山支店
〒930-0004 富山県富山市桜橋通り1-18 北日本桜橋ビル5階
TEL 076-431-8056 FAX 076-431-2056 <営業時間> 平日9:00～18:00(土日祝休業)

内容に関する お問い合わせ先

「第9回 全国校区・小地域福祉活動サミットINくろべ」実行委員会
事務局: 社会福祉法人 黒部市社会福祉協議会 総務課経営戦略係 担当: 小柴・駒田
〒938-0022 富山県黒部市金屋464-1 黒部市福祉センター内
TEL 0765-54-1082 FAX 0765-52-2797 URL: <http://www.kurobesw.com/>



第9回 全国校区・小地域福祉活動サミットINくろべ | 検索